

日本学術会議の組織・ガバナンス等に係る論点整理

○ 内部監査

【要検討事項】

- ①内部監査組織を置くか。置く場合、組織上どのような位置づけとするか。
- ②内部監査組織はどのような役割を担うか。
→学術会議の「業務の監査」か。それ以外の役割を担うか。
- ③監事との関係はどのように整理するか。
→協力して監査を実施するか、何らかの役割分担を行うか。
- ④自己点検評価に関与するか。

○中期的な活動計画、年度計画、自己点検評価、外部評価

以下に加えて、更に検討すべき事項はあるか。

＜準備委員会（第7回）における議論＞

○中期的な活動計画、年度計画、自己点検評価

- ・中期的な活動計画等について検討するための委員会を設置することとし、構成員は会長、副会長、会長補佐プラスアルファとすることが良いのではないか。
- ・検討に当たっては、ボトムアップで会員の意見を汲み上げる仕組みも必要である。

○外部評価

- ・現行と同様の外部評価を自己点検評価において活用することとし、活動実績に対して外部評価を行い、それを踏まえて自己点検評価書の作成を行うことが良いのではないか。
- ・現行と同様に、個別に外部評価有識者を委嘱し、日本学術会議へのヒアリング及び意見交換に基づき外部評価を実施することとするのが良いのではないか。